

守谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議の結果について

[守谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議とは]

地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定・推進・評価に当たって、様々な分野の人材から構成される有識者会議を設置することとなっており、守谷市も「守谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議設置要綱」に基づき会議を設置しています。会議構成員は、以下のとおりです。

NO	区分	団体等	NO	区分	団体等
1	産	守谷市産業地域協力会	7	労	関東鉄道株式会社労働組合
2		守谷市商工会 青年部	8		厚生労働省 茨城労働局 ハローワーク常総
3		茨城南青年会議所	9	市民	PTA 連絡協議会
4		茨城みなみ農業協同組合	10		市内子育てサークル
5	学	筑波大学	11	官	地方創生コンシェルジュ
6	金	常陽銀行	12		茨城県計画推進課

令和5年11月20日に会議を開催し、令和4年度守谷市まち・ひと・しごと総合戦略の総合評価について、次のような評価をいただきました。

①総合戦略の評価一覧

目標値に対する令和4年度実績の達成率に併せて、現状値（令和2年度）から目標値に対する伸び率という観点でも進捗度を測っていただきたい。結果として、計画期間内で努力すべき量に対して伸び率を測ることができると考える。その結果、後退した数値も出ると思われるが、コロナの影響がどの程度であったか、各取組の課題はどこにあるか等精緻な分析を次年度以降お願いしたい。

成果指標の選択・目標値の設定が適切であるかという点について、最終的な目標である人口増加にどう寄与しているかで評価することが大切である。また、令和4年度までのコロナの影響を受けた状況から正常な状況に戻りつつあるので、次年度以降、各指標が改善していくことを願う。一方で、数値の改善にはタイムラグが発生することも考えられる。それをやむを得ないとみなすのか、そうではないと判断をするのかも含めた分析もしていただきたい。

②企業版ふるさと納税

（地域再生計画におけるKPIが総合戦略と同様であるため省略）

③デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）事業「豊かな自然と人の賑わいが共存するサステナブルな駅前拠点創出プロジェクト」

KPI 自体は未達であるものの、オープン当初に比べ、施設の利活用が進み、賑わい創出につながっている。駐車場については、本来施設利用者が利用すべき駐車場であるため、施設利用者を優先とする運用・ルールを運営事業者と検討していただきたい。さらに団体の利活用が進み、より賑わいの創出につながることでKPIの数値が改善することを期待する。

④デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）活用状況報告

当該交付金の本年度の活用状況は承知した。「戸籍証明書コンビニ交付事業」については、既に実装しているということで住民の利便性向上と市職員の負担軽減が進むことを期待したい。「守谷市住民データ利活用事業」については、自治会等での情報配信での活用など用途拡大を今後期待したい。

⑤第2期守谷市まち・ひと・しごと総合戦略の改訂検討状況

国が昨年度に総合戦略を改訂し、地方側も総合戦略の改訂を求められている旨及び次年度に小規模な改訂を行う想定である旨は承知した。次年度は、国から提示されている改訂項目の要素をベースとした改訂案を提示いただき、適切な意見をしていきたいと考える。